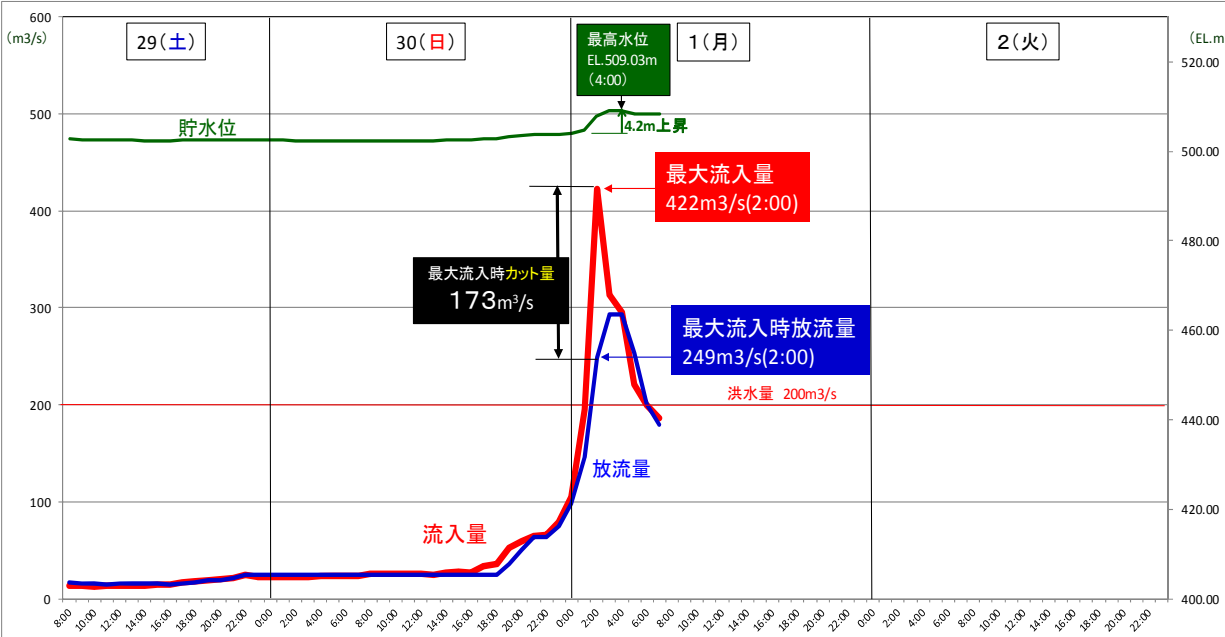
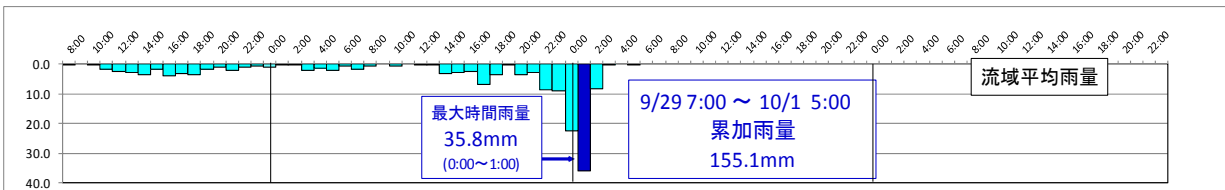


# H30.9月 台風24号 荒川水系荒川(埼玉県)における二瀬ダムの洪水調節効果

- 台風24号の影響により二瀬ダム上流域で最大時間雨量35.8mm、累加雨量155.1mmの降雨があり、二瀬ダムへの最大流入量は422m<sup>3</sup>/sに達し、ダムに173m<sup>3</sup>/sをカットすることにより放流量を249m<sup>3</sup>/sに抑えました。
- 今回の降雨による出水において約91万m<sup>3</sup>の水を貯留しました。
- ダム直下流の落合地点(秩父市大滝)では、約0.9mの河川水位を低減させる効果があったものと推測されます。

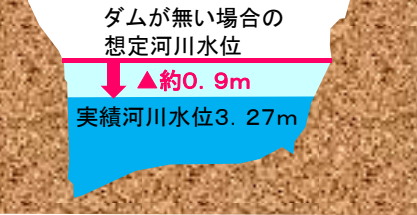


ダムの洪水調節により  
落合地点で  
約0.9m河川水位を低下

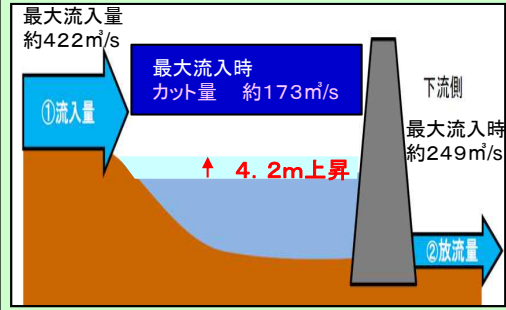
**最大流入時のカット量**

①最大流入量 約422m<sup>3</sup>/s  
 ②最大流入時の放流量 約249m<sup>3</sup>/s  
 ③最大流入時のカット量 約173m<sup>3</sup>/s

※③貯留量 = ①流入量 - ②放流量



・ダムがなかった場合の水位はダム地点の調節量をダム直下流の落合地点の水位低減量に換算しています。  
 ・図は模式的に表現したものであり実際とは異なります。



※本数値は、速報値であるため変更となる可能性があります。